

2002 KSC #1

初島卯月レース 追加帆走指示書

2002年3月29日

KSC共通帆走指示書を再規定する項目のみを記述する。

主催：日本セーリング連盟（JSAF）加盟団体 外洋三崎

運営：初島卯月レース実行委員会（諸磯フリート）

2. 適用規則

- 2-1 初島卯月レース実施要項及び追加帆走指示書
- 2-2 2002KSC特別規定、KSC実施要項及び共通帆走指示書
- 2-3 海上衝突予防法
- 2-4 JSAF特別規定 2001-2002
- 2-5 国際セーリング競技規則2001-2004（以降RRSとする。）
- 2-6 IMS2002及びIMSレギュレーションズ（IMS2002）
- 2-7 JSAF ORCクラブ運用規定（ORC-club Rule が発行された場合はこれに準拠する）
- 2-8 JSAF 外洋レース規則 - 2000（第08条は初島卯月レース帆走指示書 付則-1 通信規定におきかえる。）

* 上記の2-1と2-2, 2-4～2-8と矛盾が生じた場合は、本追加帆走指示書が優先される。

4. 公式掲示板

- 4-1 競技者に対する通告は、4月4日（木曜日）18:00以降JSAF本部事務局に設置された公式掲示板により行い、6日07:00よりは、レース本部公式掲示板にて行う。
- 4-2 競技者に対する通告は、本追加帆走指示書で規定されている通告方法が優先される。
- 4-3 4月5日（金曜日）00:00以降よりFAXサービスにても公開するが、FAXサービスにアクセスできなくても、救済要求は認めない。
- 4-4 レース本部においてのフラッグの掲揚、音響による通告、指示、連絡は行わない。
- 4-5 KSC共通帆走指示書 付則-3 は本文に置き換え、暫定成績の発表は、4月7日（日曜日）08:00よりレース本部公式掲示板に掲示し、また4月8日（月曜日）20:00よりFAXサービスにても行う。

7. レース旗及びクラス旗

- 7-1 レース旗 : レース艇は“JSAFクラブ旗・JSAFレース旗”の順に掲揚し、チェックインから自艇のレースが終了するまでレース旗の下辺がデッキより1.5m以上の高さになるように掲揚する事。
- 7-2 クラス旗 : “クラス旗”は用いない。

8. スタートエリア : スタートエリアは小網代沖とする。

9. コース

- 9-1 小網代沖スタート - ウェザーマーク（設置した場合） - 初島（反時計） - 小網代灯浮標（右に見る） - 小網代湾フィニッシュ
 - 9-1-1 ウェザーマークを設置する場合にはスターティングボートに“W旗”を掲揚し、且つ回航方法を数字旗掲揚により指示する。
 - 9-1-2 ウェザーマークの回航方法は、“数字旗1”は時計回り、“数字旗2”は反時計回りとする。
 - 9-1-3 ウェザーマーク迄のおおよその距離、コンパス方位は、スタート予告信号前までにスターティングボート上に掲示する。
- 9-2 公式距離 : 48マイル
- 9-3 予告信号の予定時刻 : 平成14年4月6日午前9時55分

10. マークの種類

- 10-1 スタートアウトマーク 黄色円筒ブイ
- 10-2 ウェザーマーク オレンジ色円筒ブイ
- 10-3 フィニッシュアウトマーク 黄色円筒ブイ (夜間はブイトップにストロボライトが付く)

11. スタート

11-1 チェックイン

11-1-1 参加艇は“L旗”を掲揚しているスターティングボートまたは運営艇後方をスターボードタックで通過し、セーラナンバーおよび乗員数を伝えて出走の確認を受けなければならない。“L旗”の掲揚は9:20~9:40の間を目安とするが、運営艇の状況によっては変動することがある。

11-2 スタート方式

11-2-1 RRS26 を摘要する全クラス同時スタートとし、予告信号は“JSAF 大バージ”を用い、RRS30.1、RRS30.2 を摘要する。

11-2-2 フラッグの掲揚と時間

信号	旗	音響	スタートまでの時間
予告	J S A F 大バージ 掲揚	音響 1 声	5 分
準備	I 旗 と Z 旗 掲揚	音響 1 声	4 分
1 分	I 旗 と Z 旗 降下	音響 1 声	1 分
スタート	J S A F 大バージ 降下	音響 1 声	スタート

掲揚旗参考

	チェックイン		予告信号 5 分前	準備信号 4 分前	1 分前	スタート
	受付開始	受付締切				
掲揚旗	UP 	DOWN 	UP 	UP 	DOWN 	DOWN
掲揚されている状態	 		 	 	 	

11-3 RRS30.2の規定に違反した場合は“10%”のタイムペナルティーを課す。(RRS30.2の一部変更)

11-4 スタート信号後“20分”を超えてからスタートラインを横切ってもスタートとは認めない。

12. スターティングライン

- 12-1 “JSAF大エンサイン”掲揚したスターティングボート（陽焰）のマストと アウターマークを結んだ見
通し線とする。

14. リコール

- 14-1 リコール艇名もしくは“I旗”対象艇名をVHF71chで放送する場合もある。（RRS29.2への追加）
14-2 放送に関する救済要求は受け付けない。

15. 運営艇

- 15-1 スターティングボート（陽焰）： JSAF大エンサイン を掲揚する。
15-2 フィニッシングボート（陽焰）： JSAF大エンサイン と ブルー旗 を掲揚する。
15-3 その他の運営艇： JSAF大バージを掲揚する。

16. 公式日の出、日没時刻と公式時間

- 16-1 日の出時刻は“05:22（方位82）”、日没時刻は“18:07（方位279）”とする。
16-2 日没から日の出までの間は海上衝突予防法を適用し、RRS第2章は適用しない。
16-3 時間は日本標準時間（JST）を用いる。

17. フィニッシュライン

- 17-1 “JSAF 大エンサイン”掲揚したフィニッシングボート（陽焰）のマストと アウターマークを結んだ見
通し線とする。
17-2 日没時間後は、フィニッシングボートのマストに“赤色灯縦2つ”を点灯し、アウターマークには“ス
トロボライト”が点滅する。
17-3 日没後のフィニッシュは、フィニッシュの“5分前”までにA符号（・）を発光信号で連送し予告す
ること。
17-4 フィニッシュ時は自艇のメインセールをライトで照射し、フィニッシングボートが確認しやすいように
すること。
17-5 日没後にフィニッシュする艇は、自艇のセールナンバーを発声にてフィニッシングボートに申告すること。

19. タイムリミット

- 19-1 4月6日（土曜日）24:00
19-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNFとなる。（RRS35の変更）

20. 航跡図への記入

- 20-1 初島灯台を“MAG. 0°”に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必要事項を正確に記
入しなければならない。

2 1 . 無線通信

- 21-1 定時ロールコールは行わない。
- 21-2 付則-1の初島卯月レース通信規定に従い運用すること。
- 21-3 定められた通信を行わなかった場合は“20%”のタイムペナルティーを課す。

2 4 . レースの中止

- 24-1 スタートリングボートに“N旗”を掲揚し“音響3声”を発する。
- 24-2 “N旗”は“音響1声”とともに次の信号の1分前に降下される。
- 24-3 スタートリングボートに“N旗”と“A旗”が掲揚され“音響3声”を発してレースを中止した場合、参加各艇は直ちに帰港するものとする。
- 24-4 その後の通告は、公式掲示板に定められた方法にて行う。
- 24-5 悪天候などレースの中止はレース当日の08:00の時点でレース委員会が検討する。中止等の決定後の通知は公式掲示板にて行う。

3 1 . レース本部

31-1 レ - ス本部

場所 : 諸磯ヨット管理事務所2階“諸磯ヨットオーナーズクラブ”
設置期間 : 2002年4月6日07:00~4月7日12:00まで

31-2 公式掲示板

場所 : 諸磯ヨット管理事務所2階“諸磯ヨットオーナーズクラブ”
設置期間 : 2002年4月6日07:00~4月7日12:00まで

31-3 連絡先

電話番号 090-5756-6551
ファクス番号 044-949-1046

3 3 . レース委員会・プロテスト委員会

レース委員長	矢尾板 憲一	運営	宮島 佐和子	プロテスト委員長	石井 秀哉
副レース委員長	山本 建	運営	林 恭子	プロテスト委員	赤間 匡
安全委員	佐藤 静治	運営	大川 竜也	プロテスト委員	鈴木 一行
通信委員	池野 康雄	成績算出	鈴木 利夫	実行委員長	林 伸樹

帆走指示書の追加（平成14年4月1日）

17. フィニッシュライン に下記17-6を追加する。

- 17-6 荒天のためにフィニッシュラインの設定が困難な場合には、小網代湾口のシーボニア岸壁と対岸の岸壁とを結んだ見通し線をフィニッシュラインとする。この場合には、赤色2灯はシーボニア岸壁側に設置する。なお、フィニッシュライン変更がある場合には、フィニッシュ予告通信時にレース艇に対して告知する。

レース委員長 矢尾板憲一

付則-1

通信規定（国際、マリンVHF及び携帯電話による通信方法、時間はすべてJST）

目的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	その他
VHF使用 チャンネル 71ch スタート前 の 通話確認	09:00 - 09:30	本部艇 各艇	本部から コールサイン 感度はいいですか レース艇から コールサイン 感度良好 通信終わり	VHF、携帯電話ともに接続 性、通話感度、明瞭度等の確 認を行う。 *呼出方法 レース委員会が各艇を順次呼 びだす。 携帯電話では2度の接続不可 の場合、申告された2台目の 携帯電話に接続を試みる。
レース中の 非常時通報	随 時	各艇 本部	コールサイン 位置（緯度・経度） 連絡内容、気象・海象 艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同運用 手順とする。 視認できる艇、船舶があれば 本部に連絡する。
		本部 各艇	確認、依頼	各艇に常時通信が可能となる 指示する場合もある。
フィニッシュ の予告	予定1時間前	当該艇 本部	レース本部 自艇コールサイン 小網代灯浮標までxx マイル 艇速xxノット フィニッシュ予定時刻 通信終わり	VHF71chか携帯電話にて連絡 をとる。

*** 事故防止、捜索協力等のためにVHF、携帯電話での義務事項を以下に定める。***

- VHF：1 スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のためCH16を聴取常時受信可能な状態にしておくこと。
- 2 毎時05分から、CH71の聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。
(マリンVHF相模湾センターCH88 09:00-17:00、毎時0分から国際VHFで聴取可能)
- 3 本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
- 4 CH16は呼出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

携帯電話：スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておくこと。

本部電話番号（変更がある場合は公式掲示板で通知する）

本部-1	090-5756-6551
本部-2	